



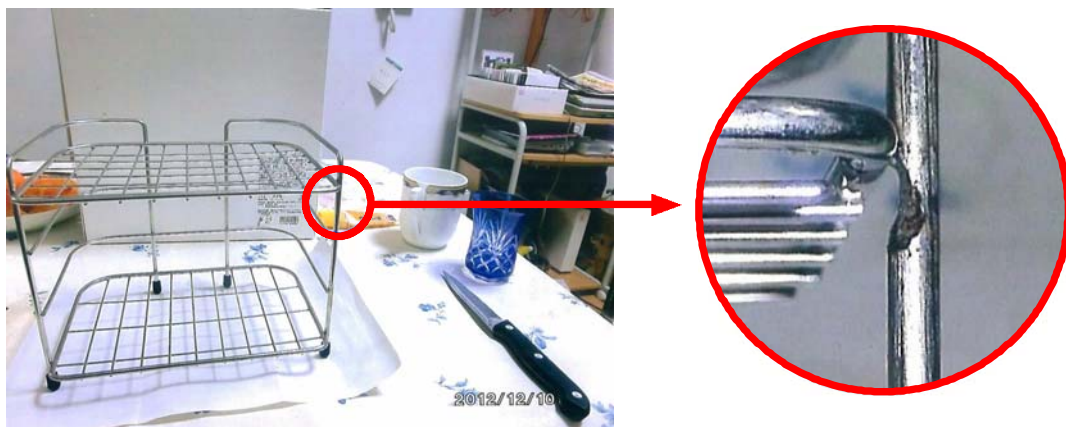
中川 実介

『被災地からの手紙』

東日本大震災から2年、『その日、私は高台にある鉄の歴史館から45号線を市街地に向かって車で降っていました。突然、道路がまるで海の波のようにならぬたのです。『大地震だ！津波が来る！』とまさに自動車を反転させ、もと来た道をとって返しました。やっとのことで、町を見下ろせる広場に戻り、少しするとゴーンという不気味な音とともに、海面が持ち上がり、町を飲み込んだのです。大きな津波の後には、そこにあった筈の自宅も消失していました。』（中川氏談）

2012年12月10日釜石市で被災され自宅を無くされた中川氏より電話を頂きました。『流失した自宅のそばに、台所で使っていたステンレス鋼の棚が見つかり、仮住まいの住宅に持って帰った。汚れを綺麗に拭き取って新品同様とと思っていましたが、よく見ると一部に穴が開いていました。長い間海水に浸かっていた為に腐食してしまったようです。』ミニコミ紙『夢通信』11月号にステンレス鋼のサビについて記載していました。その記事を見て、『あれがステンレス鋼のサビなのですね！写真を撮って送ります。』『私の常識ではステンレス鋼はサビないと思っていました。』

こんなやり取りの後に送られて来たのが下写真です。



正面や上から見ると綺麗な棚です。右下から見ると一部がサビて穴があいています。

『鉄のふしぎ博物館』に展示している『日本で2番目に大きな餅鉄（もちてつ：べいてつ）20kg』は震災の前の2月11日に中川氏から贈られてきたものです。鉄に造詣の深い彼の、他の収蔵物はすべて津波にさらわれてしまいました。

手紙の最後に『年末の忙しさに追われ、復興の遅々とした状況に腹を立てる毎日です。』『被災にはご支援頂き感謝しております。』こう記されておりました。一日も早い復興を期待しています。

『鉄のふしぎ博物館』

来て！見て！ふれて！ ふしぎ体感

鉄を見る目がかかりますよ。
ぜひお越しください。



むらの鍛冶屋®



ホームページと電子メールをご利用ください。
<http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
ryou@memenet.or.jp

何でもお気軽にお尋ねください!!